

Windows Mixed Reality Headset + Motion Controllers 取扱説明書

B5FK-9691-01

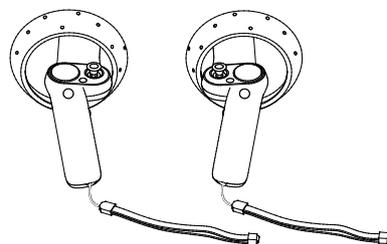
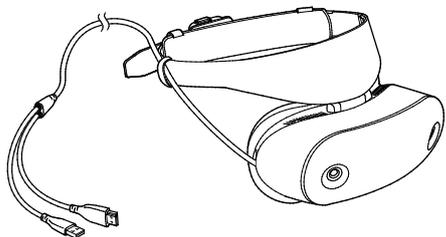


- ご使用前に、「安全上のご注意」および「お使いになる前に」をご覧ください。
- 本製品をお使いになるには、インターネットへの接続が必要です。

FUJITSU

添付品を確認する

記載している添付品とは別に、注意書きの紙などが入っている場合があります。
添付品および注意書きの紙などは大切に保管してください。



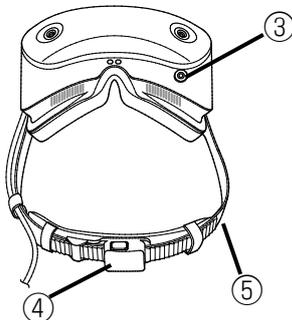
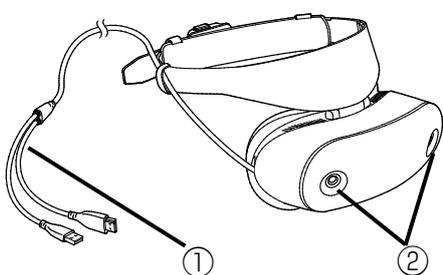
- Windows Mixed Reality Headset
- Windows Mixed Reality Motion Controllers (左手用、右手用)
- 保証書^{注1、注2}
- 単三形乾電池 4 本

注1：パソコン同梱品の場合は、保証書は添付されません。
パソコン本体の保証書で包括します。

注2：本製品は延長保証、ワイド保証の対象外です。

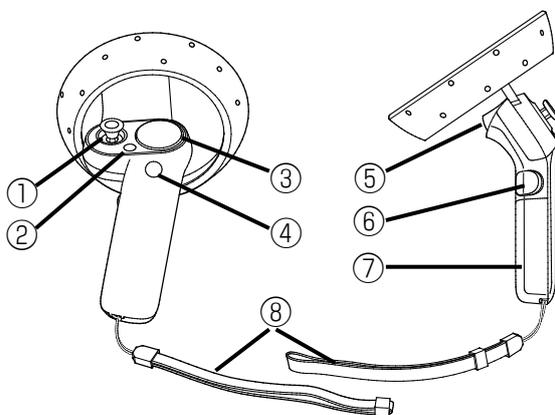
各部の名称

■Windows Mixed Reality Headset (以下、MR ヘッドセット)



- ①HDMI&USB3.0 ケーブル
- ②トラッキングカメラ
- ③オーディオジャック
- ④アジャスター
- ⑤ヘッドバンド(調整機能付き)

■Windows Mixed Reality Motion Controllers (以下、MR コントローラ)



- ①サムスティック
- ②メニュー
- ③タッチパッド
- ④Windows ボタン 
- ⑤トリガー
- ⑥グラブ
- ⑦電池ボックス
- ⑧ストラップ

イラストは右手用 (R) です。
左手用 (L) にも同様の機能があります。
各ボタン等の役割は、ご利用になるアプリやコンテンツにより異なります。

お使いになる前に

安全にお使いいただくために

このマニュアルには、本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。本製品をお使いになる前に、このマニュアルを熟読してください。特に、「安全上のご注意」をよくお読みになり、理解されたうえで本製品をお使いください。また、このマニュアルは、本製品の使用中にいつでもご覧になれるよう大切に保管してください。

保証書について

- ・保証書は、必要事項を記入し、内容をよくお読みください。その後、大切に保管してください。
- ・修理を依頼される場合には、必ず保証書をご用意ください。
- ・本製品は、延長保証、ワイド保証の対象外です。
- ・保証期間内に、正常な使用状態で故障した場合は、無料で修理いたします。
- ・保証期間内でも、保証書の提示がない場合や、天災あるいは無理な使用による故障の場合などには、有料での修理となります。ご注意ください（詳しくは、保証書をご覧ください）。
- ・本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造終了後3年間です。
- ・本製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

本製品のハイセイフティ用途での使用について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用などの一般的な用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。

お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。

ハイセイフティ用途とは、以下の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。

- ・原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など

消耗品について

乾電池などの消耗品は、その性能／機能を維持するために適時交換が必要となります。なお、交換する場合は保証期間の内外を問わず、お客様ご自身の新品購入となります。

本製品の廃棄について

本製品を廃棄する場合は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の規制を受けます。本製品を廃棄する場合は、一般廃棄物の扱いとなりますので、地方自治体の廃棄処理に関連する条例または規則に従ってください。

Bluetoothワイヤレステクノロジーについて

2.4 FH1

- ・上記表示の2.4GHz帯を使用している無線設備は、全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可です。変調方式としてFH-SS変調方式を採用しており、与干渉距離は10mです。
- ・本製品の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。
 - (1) 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。

- (2) 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに電波の発射を停止した上、ご購入元にご連絡頂き、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談してください。
- (3) その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、次の連絡先へお問い合わせください。

連絡先：「富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口」

- ・本製品は日本国内の技術基準認定を取得しています。
一部の国、地域ではBluetooth 機能の使用が制限されることがあります。海外でご利用になる場合は、その国、地域の法規制などの条件をご確認ください。
- ・Bluetooth ワイヤレステクノロジーの特性上、ご利用になる建物の構造・材質、障害物、ソフトウェア、設置状況、電波状況等の使用環境により通信距離は異なります。また、通信速度の低下や通信不能となる場合もありますのであらかじめご了承ください。
- ・航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

本製品のご利用について

- ・本製品は、国内での使用を前提に作られています。海外での使用につきましては、お客様の責任で行っていただくようお願いいたします。
 - ・本製品には、“外国為替及び外国貿易法”に基づく特定貨物が含まれています。したがって、本製品を輸出する場合には、同法に基づく許可が必要となる場合があります。
 - ・この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
- VCCI-B
- ・ディスプレイは、非常に高度な技術を駆使して作られていますが、一部に点灯しないドットや常時点灯するドットが存在する場合があります。これはディスプレイの特性であり故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
 - ・本製品は、推奨スペック（→P.32）を満たした富士通および富士通クライアントコンピューティング製のパソコンでご利用ください。
 - ・市販のオプション品については、当社では動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。

使用する方の年齢について

13歳未満のお子様は使用しないでください。また、MRヘッドセットやMRコントローラを、お子様の手の届く範囲に置かないでください。

健康のためのご注意

■光の刺激によって引き起こされる発作について

点滅を繰り返す画面や、その他の光の刺激によって、まれに、目の痛み、視覚異常、偏頭痛、けいれんや意識障害、失神などの症状が起きることがあります。光感受性発作の症状がある方は、必ず事前に医師に相談してください。

■こんなときにはすぐに使用を中止する

次のような症状が出たときは、直ちに使用を中止し、十分な休息を取ってください。使用を中止しても治らないときは、医師の診察を受けてください。

- ・上記「光の刺激によって引き起こされる発作について」の症状
- ・頭痛、めまい、吐き気、疲労感、視界のぼやけ、乗り物酔いに似た症状
- ・頭、目、耳、手、腕、足など、身体の一部に不快感や痛み
- ・MRヘッドセットが肌に合わないと感じたとき

使用上のご注意

- ・眼鏡やコンタクトレンズを装着し、視力の矯正をしている方は、裸眼では使用できません。
- ・MRヘッドセットは、眼鏡やコンタクトレンズを装着したまま利用できます。ただし、老眼鏡など、手元を見るものは除きます。なお、遠近両用の眼鏡やコンタクトレンズでは、快適に利用いただけない場合があります。
- ・眼鏡を使用したまま利用する場合は、眼鏡やMRヘッドセット内部のレンズ面を傷つけないように注意してください。また、眼鏡のフレームの大きさによっては、利用できない場合があります。
- ・疲れているときや睡眠が不足しているときは使用しないでください。
- ・アルコール摂取時は使用を控えてください。
- ・ゆれが発生するような不安定な場所で使用しないでください。
- ・映像に慣れるまでの時間には個人差があります。短い時間からの使用をお勧めします。
- ・一定の時間ごとに十分な休憩をお取りください。ご自身の体調に合わせて休憩の頻度や長さを判断してください。
- ・使用中や使用後に不快な症状がある場合は、すぐに使用を中止し、十分な休憩を取ってください。
- ・MRヘッドセット正面のトラッキングカメラをふさがないでください。
- ・MRヘッドセットを振り回さないでください。また、物を載せる、落とすなど、強い衝撃を与えないでください。
- ・MRヘッドセットを装着すると周囲が見えなくなります。次のことに気をつけてください。事故やけがの原因となります。
 - 装着する前に周囲に人がいないこと、ぶつかったり、踏みつけたりする物がないことを確認してください。
 - 使用中は周囲の安全確保に配慮してください。特に、小さなお子様やペットなどがいる場合は立ち入らせないようにしてください。
 - MRヘッドセットから伸びているHDMI&USB3.0ケーブルが体に巻きつかないように注意してください。巻きついた場合は、そのまま使用せず、すぐに巻きつきを解消してください。
 - 頭や手、体を必要以上に大きく動かすなど、過度な動作は避けてください。
- ・MRコントローラを使うときは、必ずストラップに手を通し、手を離さないでください。破損やけがの原因となります。
- ・汚れや傷がつかないように注意してください。汚れた場合は、「お手入れ」(→P.28)をご覧ください。汚れを落としてください。
- ・強い衝撃を与えたり、過度の力を加えたりしないでください。特に、MRヘッドセット内側のレンズ面にキズが入るとけがの原因になります。そのような場合は、すぐに使用を中止してください。
- ・本製品を長時間直射日光下にさらさないでください。さらしたままにしておくと、本製品の破損や火災等を招く可能性があります。

マニュアルの表記について

このマニュアルの内容は2017年10月現在のものです。

お問い合わせ先やURLなどが変更されている場合は、「富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口」へお問い合わせください。

本書では、富士通株式会社／富士通クライアントコンピューティング株式会社の製品・サービスについて記載しています。なお、両社の製品・サービスについて「富士通パソコン」「富士通の」などと表記しています。

■操作手順と画面について

Windows 10およびWindows Mixed Realityは、機能の追加や改善、セキュリティの向上を目的とし、インターネットを通じて自動で更新されます。

そのため、本書をご覧になる時期により、操作手順や画面に表示される内容などが変わる場合があります。

■安全にお使いいただくための絵記号について

このマニュアルでは、本製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々に加えられるおそれのある危害や損害を、未然に防止するためのシンボルマークと警告絵文字を使っています。

□警告レベルを表すシンボルマーク

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があることを示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、物的損害が発生する可能性があることを示しています。

□危害や損害の内容を表す警告絵文字

▲で示した記号は、警告・注意をうながす内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な警告内容が示されています。

 破損注意	特定の条件において、破裂する可能性について注意を喚起します。	 高温注意	特定の条件において、高温による傷害の可能性について注意を喚起します。
 レーザー光注意	特定の条件において、レーザー光を直視する危険性について注意を喚起します。	 指のケガに注意	特定の条件において、けがする可能性について注意を喚起します。

⊘で示した記号は、してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な禁止内容が示されています。

 一般禁止	一般的な禁止行為や禁止事項を示します。	 火気禁止	特定の条件において、外部の火気によって製品の発火する可能性を示します。
 接触禁止	特定の条件において、機器の特定の場所に触れることによって傷害が起こる可能性を示します。	 水場使用禁止	防水処理のない機器を水場で使用して漏電によって傷害が起こる可能性を示します。
 分解禁止	機器を分解することで感電などの傷害が起こる可能性を示します。	 ぬれ手禁止	機器を濡れた手で扱うと、感電する可能性を示します。
 水濡れ禁止	防水処理のない機器を水がかかる場所で使用または、水に濡らすなどして使用すると、漏電して感電や発火する可能性を示します。		

●で示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な指示内容が示されています。

	<p>安全アース端子付きの機器の場合、使用者に必ずアース線を接続するように指示します。</p>		<p>故障時や落雷の可能性がある場合、使用者に電源プラグをコンセントから抜くように指示します。</p>
	<p>特定しない一般的な使用者の行為を指示します。</p>		

■本文中の記号

本文中に記載されている記号には、次のような意味があります。

	<p>お使いになるときの注意や、してはいけないことを記述しています。必ずお読みください。</p>
	<p>操作に関連することを記述しています。必要に応じてお読みください。</p>

■画面例およびイラストについて

本文中の画面およびイラストは一例です。お使いの機種によって、実際に表示される画面やイラスト、およびファイル名などが異なることがあります。また、イラストは説明の都合上、本来接続されているケーブル類を省略していることがあります。

■製品の呼び方

本文中では、製品名称を次のように略して表記することがあります。

製品名称	このマニュアルでの表記
Windows 10 Home 64 ビット版	Windows または Windows10
Windows 10 Pro 64 ビット版	
Bluetooth®	Bluetooth

■商標および著作権について

Intel、インテル、Intel Coreは、アメリカ合衆国および / またはその他の国におけるIntel Corporationの商標です。

NVIDIAは、NVIDIA Corporationの登録商標です。

AMDは、Advanced Micro Devices, Inc.の商標です。

HDMI、High-Definition Multimedia Interface、およびHDMIロゴは、米国およびその他の国におけるHDMI Licensing, LLC の商標または、登録商標です。 **HDMI**

Bluetooth®のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、富士通クライアントコンピューティング株式会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。

その他の各製品名は、各社の商標、または登録商標です。

その他の各製品は、各社の著作物です。

その他のすべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。

Copyright FUJITSU CLIENT COMPUTING LIMITED 2017

安全上のご注意

本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。本製品をお使いになる前に、必ずお読みになり、正しく安全に、大切に取扱ってください。また、本製品をお使いになるときは、マニュアルをよくお読みになり、正しくお使いください。

設置／準備



梱包に使用している袋類は、お子様の手の届く所に置かないでください。口に入れたり、頭にかぶったりすると、窒息の原因になります。



振動している場所や傾いた所などの不安定な場所に置かないでください。本製品が落下して、けが、故障の原因になります。



本製品を風通しの悪い場所、火気のある場所、引火性ガスの発生する場所で使用したり、置いたりしないでください。火災の原因になります。



本製品や周辺機器のケーブル類の配線にご注意ください。ケーブルに足を引っかけ、転倒したり、本製品や周辺機器が落ちたり倒れたりして、けがや故障の原因になります。



電池を機器に入れる場合は、+（プラス）と-（マイナス）の向きに注意し、表示どおりに入れてください。間違えると電池の破裂、液もれ、発火の原因になります。



ケーブル類を束ねた状態で使用しないでください。発熱して、火災の原因になります。

使用時



火中に投入、加熱しないでください。発煙、発火、破裂の原因になります。



端子をショートさせないでください。感電、火災の原因になります。



発熱や煙、異臭や異音がするなどの異常が発生したときは、ただちにパソコンに接続しているケーブルを取り外してください。異常状態のまま使用すると、感電、火災の原因になります。その後、異常な現象がなくなるのを確認して、富士通のお問い合わせ窓口、またはご購入元にご連絡ください。



開口部（通風孔など）から内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。感電、火災の原因になります。



風呂場やシャワー室など、水のかかるおそれのある場所で使用したり、置いたりしないでください。感電、火災の原因になります。



本製品の上や周りに、花びんやコップなど液体の入ったものを置かないでください。水などの液体が本製品の内部に入って、感電、火災の原因になります。



使用中の本製品に、ふとんや布などをかけないでください。通風孔がある場合は、ふさがないように。通気孔が目詰まりしないように、掃除機などで定期的にほこりを取ってください。内部に熱がこもり、火災の原因になります。



光の刺激によって引き起こされる発作にご注意ください。点滅を繰り返す画面や、その他の光の刺激によって、まれに、目の痛み、視覚異常、偏頭痛、けいれんや意識障害、失神などの症状が起きることがあります。光感受性発作の症状がある方は、必ず事前に医師に相談してください。



ご使用になる場合には、部屋を明るくして、画面からできるだけ離れてください。お使いになる方の体質や体調によっては、強い光の刺激を受けたり、点滅の繰り返しによって一時的な筋肉のけいれんや意識の喪失などの症状を起こす場合がありますので、ご注意ください。過去にこのような症状を起こしたことがある場合は、事前に医師に相談してください。本製品をご使用中にこのような症状を発症した場合には、すぐに本製品の使用を中止し、医師の診断を受けてください。



本製品や周辺機器のケーブル類に、お子様が容易に触れないようにしてください。誤って首に巻きつけると窒息の原因になります。



自転車、バイク、自動車などを運転中に本製品を使用しないでください。安全走行を損ない、事故の原因になります。安全な所に止めてからお使いください。



電池を取り扱うときは、次の点にご注意ください。液もれ、けが、やけど、破裂、火災、周囲を汚す原因になります。

- ・指定された方法以外で使用しない
- ・分解や改造をしない
- ・加熱したり、火の中に入れてたりしない
- ・熱器具に近づけない
- ・火のそばや炎天下などで充電したり、放置したりしない
- ・落としたり、ぶつけたり、大きな衝撃を与えない
- ・先のとがったもので力を加える、強い圧力を加えない
- ・ショートさせない
- ・端子部分をぬらしたり、水の中に入れてたりしない
- ・金属製のネックレスやヘアピンなどいっしょに携帯、保管しない
- ・お子様の手の届く所に保管しない
- ・乾電池を充電しない
- ・ハンダ付けしない



一般禁止

ケーブル類は、傷つけたり、加工したり、加熱したり、重いものを載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたり、ねじったりしないでください。感電、火災の原因になります。



一般指示

Bluetooth®ワイヤレステクノロジーの注意
次の場所では、無線通信機能を停止してください。
無線機器からの電波により、誤動作による事故の原因となります。
・病院内や医療用電子機器のある場所
特に手術室、集中治療室、CCU（冠状動脈疾患監視病室）などには持ち込まないでください。
・航空機内など無線通信機能の使用を禁止されている場所
・自動ドア・火災報知機など自動制御機器の近く
・身動きが自由に取れない状況など、植込み型医療機器（心臓ペースメーカーなど）を装着している方と密着する可能性がある場所
・満員電車の中など付近（15cm）に植込み型医療機器を装着している方がいる可能性がある場所



注意



一般禁止

本製品の上に重いものを置かないでください。けがの原因となることがあります。



一般指示

本製品をお使いになる場合は、次のことに注意し、長時間使い続けるときは1時間に10~15分の休憩時間や休憩時間の間の小休止をとるようにしてください。
本製品を長時間使い続けると、目の疲れや首・肩・腰の痛みなどを感じる原因となることがあります。画面を長時間見続けると、「近視」「ドライアイ」などの目の健康障害の原因になります。



一般禁止

ヘッドホン・イヤホン・ヘッドセットをご使用になるときは、音量を上げすぎないでください。耳を刺激するような大きな音量で聞くと、聴力に悪い影響を与える原因になります。



一般指示

電源を入れたり切ったりする前には音量を最小にしておいてください。
ヘッドホン・イヤホン・ヘッドセットをしたまま、電源を入れたり切ったりしないでください。突然大きな音や刺激音が出て、聴力に悪い影響を与える原因になります。



一般指示

こんなときはすぐに使用を中止してください。次のような症状が出たときは、直ちに使用を中止し、十分な休憩を取ってください。使用を中止しても治らないときは、医師の診察を受けてください。
・「光の刺激によって引き起こされる発作について」（→P.4）の症状
・頭痛、めまい、吐き気、疲労感、視界のぼやけ、乗り物酔いに似た症状
・頭、目、耳、手、腕、足など、身体の一部に不快感や痛み
・MRヘッドセットが肌に合わないと感じたとき



一般指示

疲れているときや睡眠が不足しているときは使用しないでください。
健康障害や思わぬけがや事故の原因となることがあります。



一般指示

アルコール摂取時は使用を控えてください。健康障害や思わぬけがや事故の原因となることがあります。



一般指示

ゆれが発生するような不安定な場所で使用しないでください。
思わぬけがや事故の原因となることがあります。



一般指示

一定の時間ごとに十分な休憩をお取りください。ご自身の体調に合わせて休憩の頻度や長さを判断してください。
本製品を長時間使い続けると、目の疲れや首・肩・腰の痛みなどを感じる原因となることがあります。また健康障害や思わぬけがや事故の原因となることがあります。



一般禁止

MRヘッドセットを振り回さないでください。また、物を載せる、落とすなど、強い衝撃を与えないでください。
けがや故障の原因となることがあります。

MRヘッドセットを装着すると周囲が見えなくなります。次のことに気をつけてください。

事故やけがの原因となります。

・装着する前に周囲に人がいないこと、ぶつかったり、踏みつけたりする物がないことを確認してください。

・使用中は周囲の安全確保に配慮してください。特に、小さなお子様やペットなどがいる場合は立ち入らせないようにしてください。

・MRヘッドセットから伸びているHDMI&USB3.0ケーブルが体に巻きつかないように注意してください。巻きついた場合は、そのまま使用せず、すぐに巻きつきを解消してください。

・頭や手、体を必要以上に大きく動かすなど、過度な動作は避けてください。



一般禁止

MRコントローラを使うときは、必ずストラップに手を通し、手を離さないでください。
破損やけがの原因となります。



一般禁止

強い衝撃を与えたり、過度の力を加えたりしないでください。特に、MRヘッドセット内側のレンズ面にキズが入るとけがの原因になります。そのような場合は、すぐに使用を中止してください。



一般禁止

本製品を長時間直射日光下にさらさないでください。
さらしたままにしておくと、本製品の破損や火災等を招く可能性があります。

メンテナンス

⚠ 警告



分解禁止

お客様ご自身で修理、改造しないでください。また、マニュアルなどで指示がある場合を除いて分解しないでください。

けが、感電、火災の原因になります。修理や点検などが必要な場合は、富士通のお問い合わせ窓口、またはご購入元にご連絡ください。



一般禁止

取り外したカバー、キャップ、ネジ、電池などの部品は、お子様の手の届く所に置かないでください。

誤って飲み込むと窒息の原因になります。万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。



一般禁止

清掃するときに、清掃用スプレー（可燃性物質を含むもの）を使用しないでください。故障や火災の原因になります。



一般禁止

指定以外の電池は使用しないでください。また、2本以上セットする場合は、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災、けが、周囲を汚損する原因になります。



一般指示

周辺機器のケーブルは、本製品や周辺機器のマニュアルをよく読み、正しく接続してください。誤った接続状態でお使いになると、感電、火災の原因になります。また、本製品および周辺機器が故障する原因になります。

⚠ 注意



一般禁止

本製品内部の突起物、および指定された部品以外には、手を触れないでください。けが、故障の原因になります。

異常時

⚠ 警告



一般禁止

雷が鳴り出したときは、落雷の可能性がなくなるまで本製品やケーブル類に触れないでください。ケーブル類の接続作業は、落雷の可能性がなくなるまで行わないでください。

落雷の可能性がある場合は、あらかじめパソコンの電源を切り、その後電源ケーブルやACアダプタをコンセントから抜き、ケーブル類を取り外しておいてください。

落雷による故障、感電、火災の原因になります。



一般指示

電池が液もれし、もれ出た液が万一、目や口に入ったときは、こすらず水道水などの多量のきれいな水で十分に洗った後、すぐに医師の治療を受けてください。

失明など障害の原因になります。液が皮膚や衣類に付着したときは、ただちに水でよく洗い流してください。皮膚に障害を起こす原因になります。

保管／廃棄

⚠ 注意



重要注意

本製品の廃棄については、マニュアルの説明に従ってください。

本製品は「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の規制を受けます。

本製品は乾電池を使用しております。一般のゴミといっしょに火中に投げられると電池が破裂するおそれがあります。

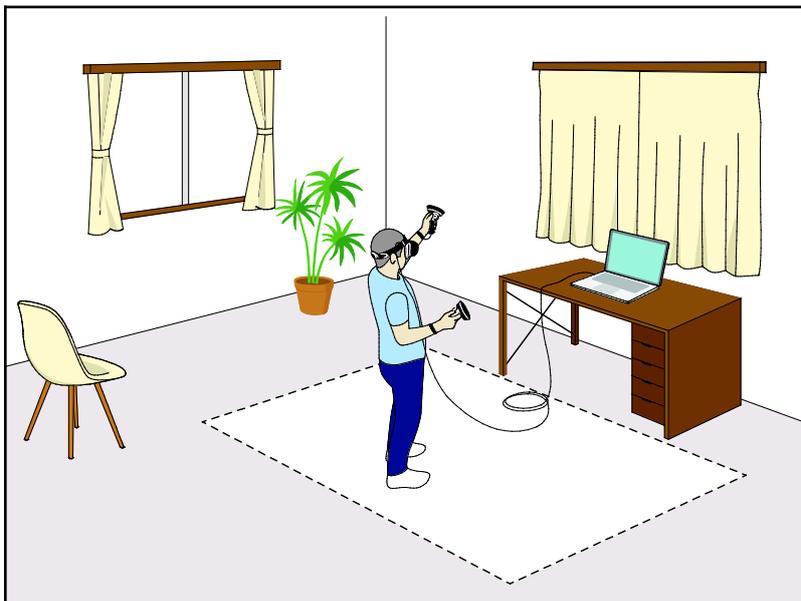
使用済み電池の廃棄については、マニュアルの説明に従ってください。

お使いになる部屋の環境

Windows Mixed Reality をお楽しみいただくには、パソコンが設置されている部屋の環境をあらかじめ整える必要があります。
使い方に合わせて、環境を整えてください。

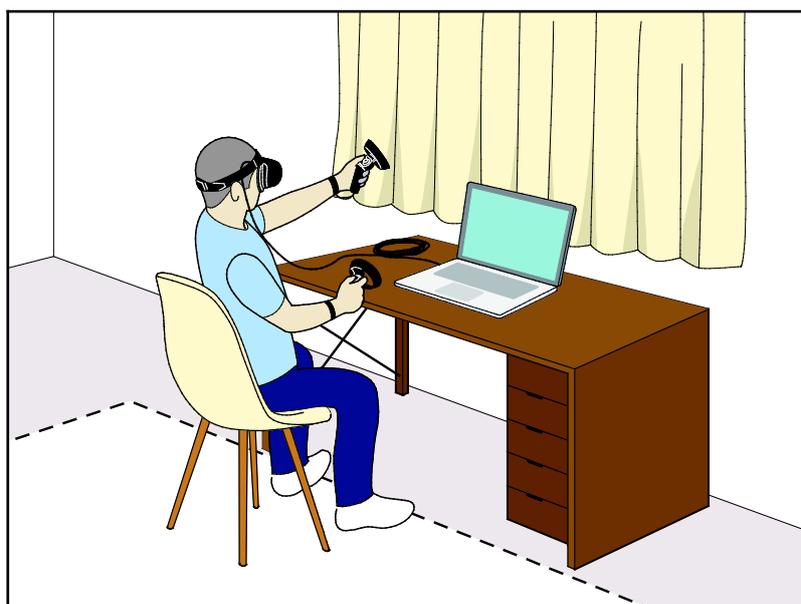
移動しながら使う場合

移動しながら使う場合には、パソコンの前に縦 1.5m、横 2m 程度の、何も無い空間（プレイエリア）が必要です。



- ・プレイエリアの床には何も置かない
- ・プレイエリアの近くに物を置かない
- ・頭上も含め、空間に何も無い状態にする
- ・パソコンの正面から光が入らないようにする
- ・蛍光灯の真下など、過度の光が当たらないようにする
- ・子供やペットなどが近づかないようにする

パソコンの前で使う場合



- ・パソコンの前で使う前提でも、近くに物をおかない
- ・頭上も含め、空間に何も無い状態にする。
- ・パソコンの正面から光が入らないようにする
- ・蛍光灯の真下など、過度の光が当たらないようにする
- ・子供やペットなどが近づかないようにする

準備する

準備の前に

Windows が使える状態になっていない場合は、パソコンに添付されている『取扱説明書<スタートガイド>』に沿ってパソコンをセットアップし、Windows が使える状態にしてください。

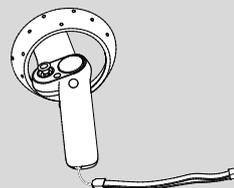
また、インターネットに接続した状態にしてください。インターネットに接続していないと準備を進められません。

準備の流れ

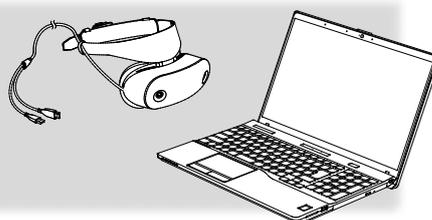
5つの Step で準備完了！

Windows Mixed Reality をお楽しみいただくには、準備が必要です。次の流れに沿って、正しく準備してください。

Step 1 MR コントローラの準備



Step 2 MR ヘッドセットの接続



Step 3 Windows Mixed Reality と MR コントローラの初期設定



Step 4 Windows Mixed Reality の境界設定



Step 5 音声認識の確認とデータのダウンロード

5

ダウンロードには時間がかかります。

ダウンロードにかかる時間は、お使いのインターネット回線の速度により異なります。

1 MRコントローラの準備

■電池を入れる



電池を機器に入れる場合は、+（プラス）と-（マイナス）の向きに注意し、表示どおりに入れてください。
間違えると電池の破裂・液もれ・発火の原因となります。



電池ボックスに金属物を入れたり、落としたりしないでください。
故障の原因となることがあります。

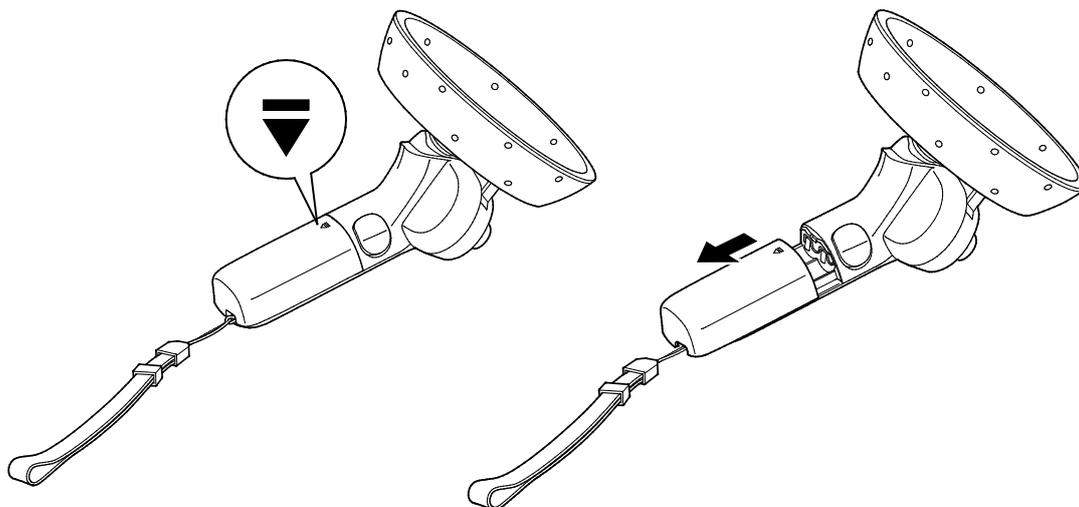


充電池以外の使用済み乾電池を充電して使用しないでください。
液もれ、破裂の原因となります。

7 MRコントローラ裏面の ▼ を強めに押しながら、フタを下にスライドさせて外します。

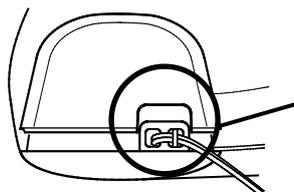
重要

▶ 最初のうちはフタが固いので、爪を傷つけないようご注意ください。



Point

▶ 右手用と左手用は、フタの形状が異なります。取り付けるときは、ストラップホルルの位置を確認してください。



フタを取り付けるときは、フタの凹みと、ストラップホルルの位置を合わせます。

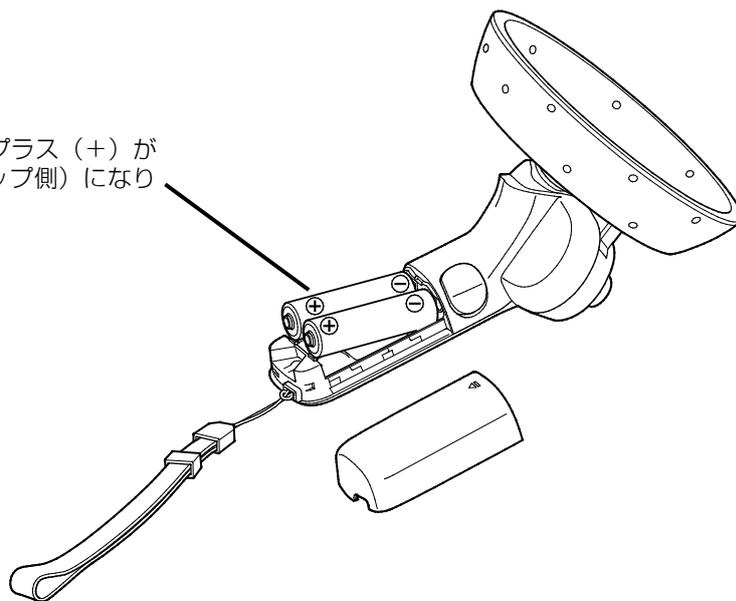
2 添付の単3形乾電池の+（プラス）と-（マイナス）の向きを確認してセットします。

左手用、右手用の両方に正しくセットしてください。

- 添付の乾電池は初期動作確認用です。すぐに寿命に達する場合があります。早めに新しい電池（単3形乾電池2本または単3形充電電池2本）に交換してください。新しい乾電池の寿命の目安は、1日2時間の利用で約14日間*です。

※アルカリ乾電池使用時。稼働時間を保証するものではありません。ご利用環境により異なる場合があります。

2本とも、プラス（+）が下（ストラップ側）になります。



このあと、パソコンに MR コントローラを認識させるために、電池ボックス内のペアリングボタンを使います。電池ボックスのふたを閉めずに、次の手順に進んでください。

② MR ヘッドセットの接続

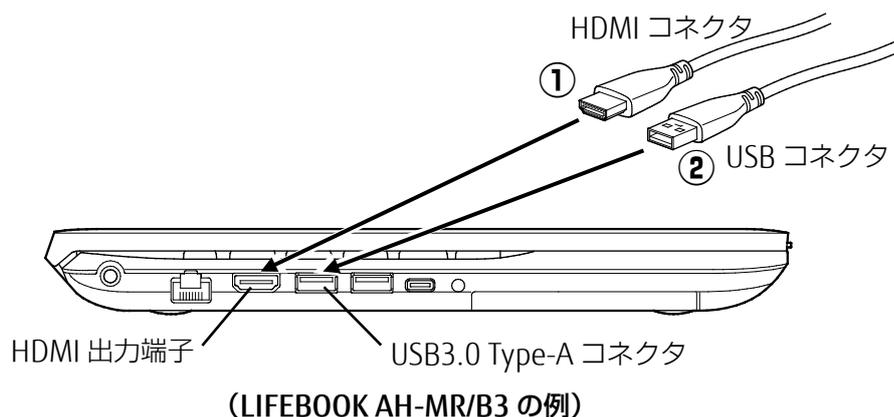
1 パソコンの電源を入れ、Windows を起動します。

重要

- ▶ ノートパソコンの場合は、必ずパソコン本体に AC アダプタを接続してください。また、バッテリーの充電が完了してからお使いください。
- ▶ パソコンの省電力機能を設定している場合は、解除してください。
例) ・ステータスパネルスイッチの「省電力モード」
・  ▶  (設定) ▶ 「システム」▶ 「電源とスリープ」▶ 「電源の追加設定」
- ▶ MR コントローラは、Bluetooth ワイヤレステクノロジーで無線接続されます。MR コントローラを使用中は、MR コントローラのレスポンスを優先させるため、他の Bluetooth ワイヤレステクノロジー対応機器を使わないでください。他の Bluetooth ワイヤレステクノロジー対応機器の電源を切ることをお勧めします。
- ▶ Windows Mixed Reality をお使いになるときは、他のアプリを起動しないでください。他のアプリの動作により、Windows Mixed Reality を快適にお使いいただけません場合があります。

2 MR ヘッドセットの HDMI&USB3.0 ケーブル先端の HDMI コネクタ、USB コネクタを、パソコン本体の①HDMI 出力端子、②USB3.0 Type-A コネクタの順に接続します。接続するときは、コネクタの向きに注意してください。

パソコン本体のコネクタの位置については、パソコンに添付の『取扱説明書<スタートガイド>』 - 「各部の名称について」をご覧ください。



しばらくすると MR ヘッドセットが認識され、パソコンに「Windows Mixed Reality へようこそ」の画面が表示されます。

MR ヘッドセットを装着せずに、次の手順に進んでください。

③ Windows Mixed Reality と MR コントローラの初期設定

ここからの操作では、パソコンのマウスやフラットポイントを使います。
MR ヘッドセットを装着せずに操作してください。

- 1 画面右下の  をクリックしてアクションセンターを表示し、「展開」をクリックして、Bluetooth ワイヤレステクノロジーが有効になっていることを確認します。無効になっている場合は、クリックして有効にします。



- 2 画面の指示に従って設定を進めます。



④が表示されず、⑥が表示される場合があります。その場合⑥から操作してください。



「次へ」をクリック



「次へ」をクリック



「次へ」をクリック



「次へ」をクリック



コントローラの電源を入れるには、Windows ボタン  を 2 秒間長押ししてください。

ライトが点滅するまで [Bluetooth ペアリング] ボタンを長押しします。

左コントローラ: 接続済み 

右コントローラ: 接続済み 

「接続しよう」の画面が表示されたら、次の手順で MR コントローラをペアリング（認識）させます。

右手用、左手用、どちらから始めても構いません。

1.MR コントローラの Windows ボタン  を 2 秒以上長押しし、電源を入れます。

2.MR コントローラが認識されるまで、電池ボックス内にある「ペアリングボタン」を押し続けます。

認識されると「接続済み」と表示されます。

3.右手用、左手用どちらも認識させてください。

4.認識されたら、電池ボックスのフタを閉めます。このとき、右手用、左手用を間違えないでください。

5.最後に「次へ」をクリックします。

4 Windows Mixed Reality の境界設定

境界設定とは、MR ヘッドセットおよび MR コントローラの使い方に合わせ、移動範囲を測定、設定することです。



パソコンの前に、縦 1.5m×横 2m の何もない空間が必要です。

お使いの環境に合わせ、どちらかをクリックして選択します。

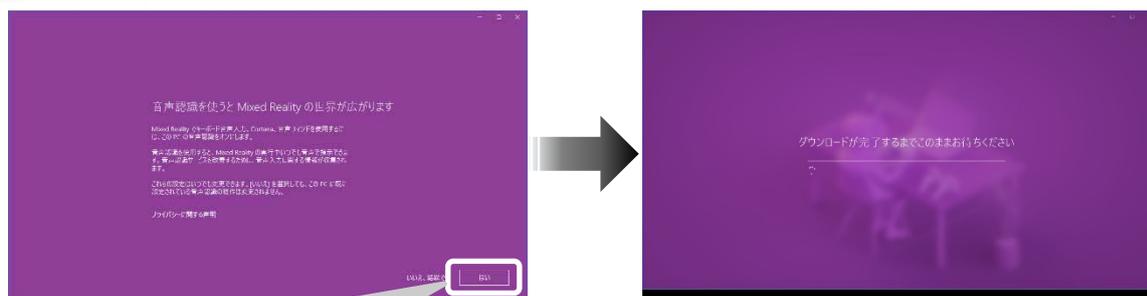
その後、画面の指示に従って、設定を進めてください。

境界設定は後から変更することもできます (→P.27)。

「移動しながら使うことを想定した設定」を行う場合は、MR ヘッドセットをパソコンに向けて持ったまま部屋の中を歩き、境界を認識させます。あらかじめ部屋の中に空間を確保してください (→P.11)。また、ケーブルを踏んだり、ひっかけたりしないように注意してください。

境界設定が終わると、音声認識を活用するための確認画面が表示されます。

5 音声認識の確認とデータのダウンロード



「はい」をクリック

ダウンロードにかかる時間は、お使いのインターネット回線の速度により異なります。

ダウンロードには時間がかかります。このまましばらくお待ちください。

ダウンロードが終わると、パソコンの画面に「Mixed Reality ポータル」ウィンドウが表示され、中央に「準備完了」と表示されます。

次ページからの手順に従って、MR ヘッドセットを装着し、Windows Mixed Reality の世界をお楽しみください。

MRヘッドセットを装着する

日常生活で眼鏡やコンタクトレンズをお使いの場合は、それらをお使いのまま装着してください。ただし、眼鏡の種類、フレームの大きさや形によっては、お使いいただけない場合があります。

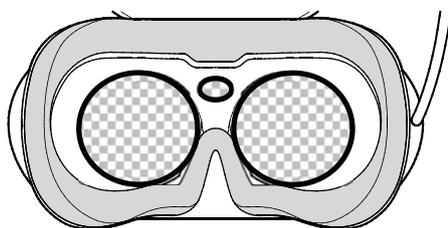
準備する

■初めてお使いになるときは、保護フィルムを剥がしてください。

製品出荷時は、次の箇所に保護フィルムが貼られています。

- ・MRヘッドセット前面
- ・MRヘッドセット内側のレンズ2箇所およびセンサー

この他にも、製品を保護する保護フィルムが貼り付けられている場合があります。



図中の○印に貼ってある保護フィルムを剥がしてお使いください。

■必要に応じてヘッドセット（マイク付）やヘッドホンを接続してください。

Windows Mixed Reality では、映像はMRヘッドセット内に表示され、音はパソコンのスピーカーから出ます。また、パソコンにマイクが内蔵されていれば、音声による操作ができます。

境界設定で「移動しながら使うことを想定した設定」を選択し、移動しながら使う場合、パソコンから離れるとマイクで音声を拾いづらくなります。

このような場合は、市販のヘッドセット（ヘッドホンとマイクが一緒になったもの）をMRヘッドセットのオーディオジャックに接続することで、快適に利用できます。

マイクが付いていないヘッドホンも利用できます。その場合、音声による操作はパソコンのマイクを利用します。

市販の、外形3.5mmのミニプラグ（CTIA規格）に対応したヘッドセット（マイク付）やヘッドホンをご購入ください。

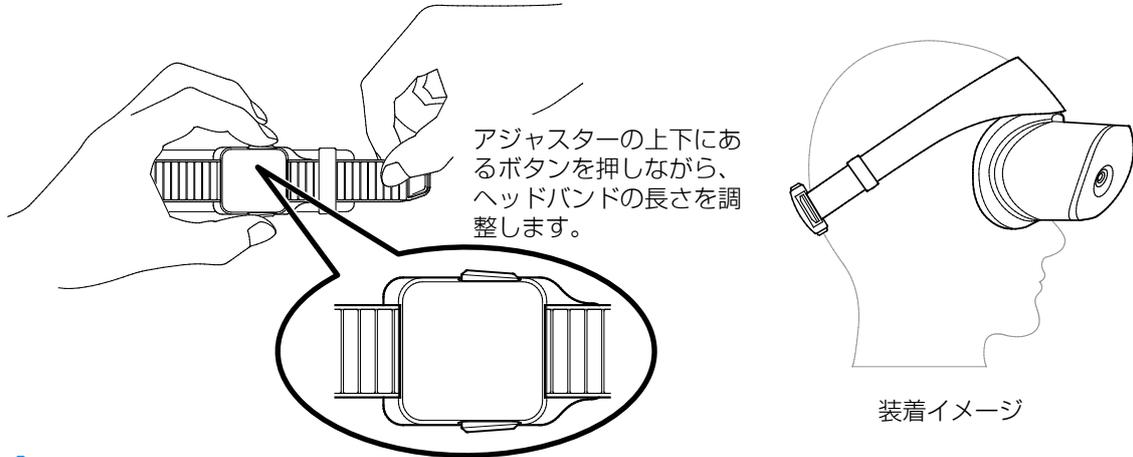
重要

- ▶ お使いになる前に、オーディオジャックに接続した機器の音量を調節してください。音量が大きすぎると、聴力に悪い影響を与える原因になります。できるだけ音量を下げてお試してください。音量の変更については、「オーディオジャックに接続した機器の音量を調節する」（→P.27）をご覧ください。



装着する

- 1 ヘッドバンドのアジャスター（調整部分）を緩め、MRヘッドセットをかぶりま
す。



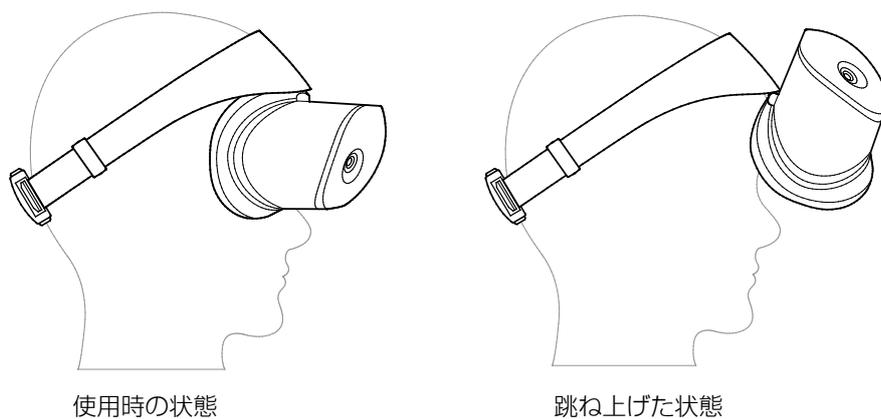
Point

- ▶ MRヘッドセットのゴーグル部分は、上下に動かすことができます。アジャスター（調整部分）を緩めるだけでは装着しづらい場合、上に跳ね上げた状態で顔に当て、その後ヘッドバンド部分を頭部に密着させます。

- 2 ヘッドバンドのアジャスター（調整部分）を軽く締めます。強く締めすぎないようにご注意ください。

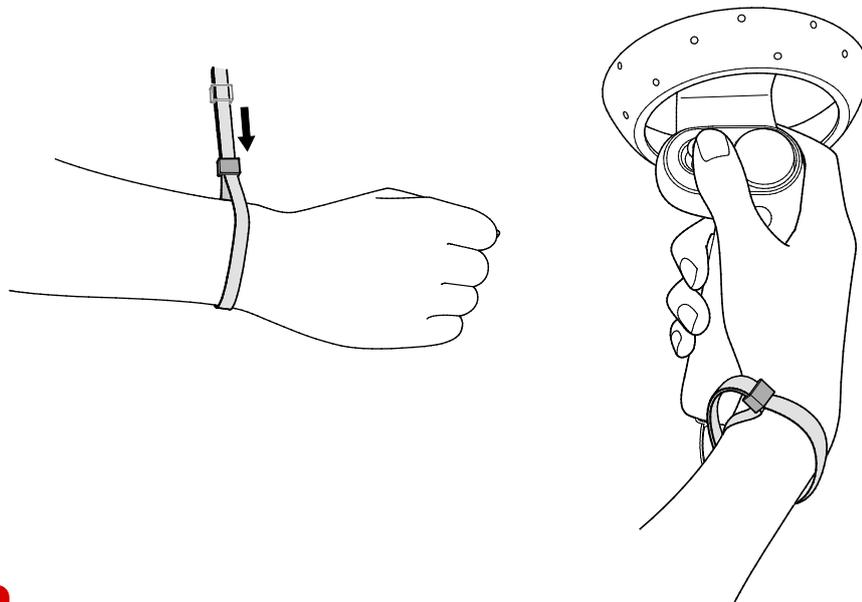
Point

- ▶ MRヘッドセットのゴーグル部分は、上下に動かすことができます。ゴーグル部分を跳ね上げることで、MRヘッドセットを外すことなく、周りを確認できます。



MRコントローラを持つ

MRコントローラには、あらかじめストラップが付いています。お使いになるときは、必ずストラップに手を通し、手首の周りにちょうど良くなるようにロックを調整してください。

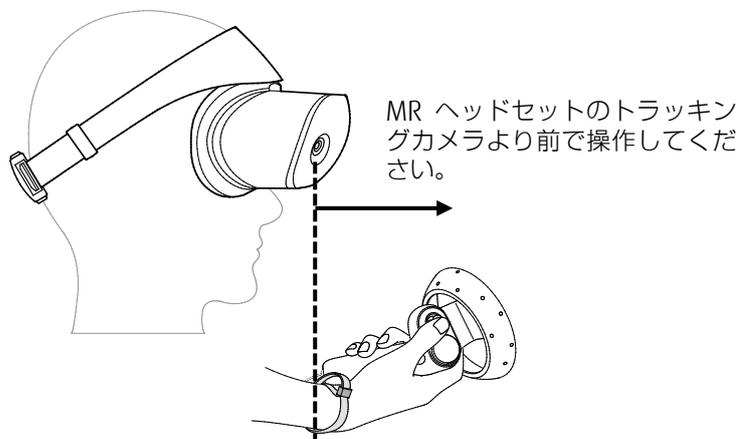


重要

- ▶ MRコントローラを使うときは、必ずストラップに手を通し、手を離さないでください。破損やけがの原因となります。
- ▶ MRコントローラを使うときは、周囲に置いてあるものにぶついたり、MRコントローラを落としたりしないよう、注意してください。破損やけがの原因になります。

Point

- ▶ MRコントローラの動作は、MRヘッドセット正面のトラッキングカメラで検知します。お使いになっている間は、MRヘッドセットより前で操作してください。



Windows Mixed Reality を体験する

準備が整ったら、Windows Mixed Reality の世界を体験してみましょう。
MR ヘッドセットを装着し、映像と音声に従って、操作してください。

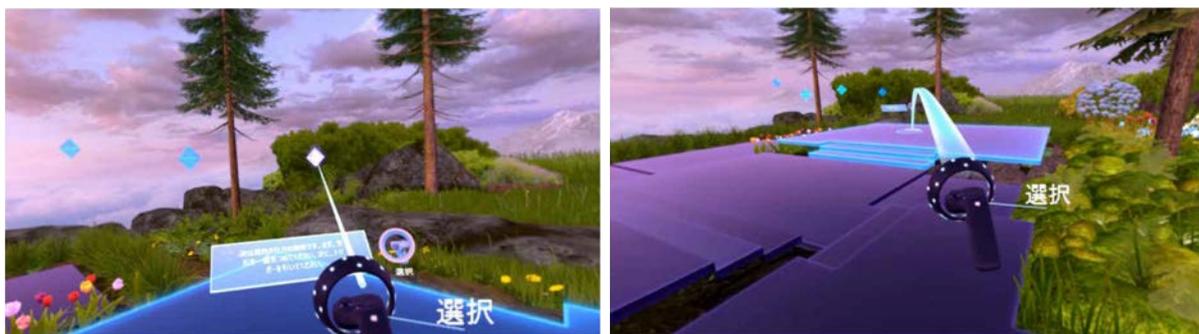
重要

- ▶ MR ヘッドセットを装着すると周りが見えません。特に、移動しながら使う場合は、物にぶつかったり、踏んだりしないよう、十分にご注意ください。
- ▶ MR ヘッドセットとパソコンを接続しているケーブルを踏んだり、引っ掛けたりしないでください。ケーブルを踏んだり、引っ掛けたりすると、転倒する危険があります。また、パソコン本体が机の上などから落下する危険があります。十分にご注意ください。
- ▶ Windows Mixed Reality は、インターネットを通して常に最新のアプリに更新されます。また、MR ヘッドセットや MR コントローラの機能改善のため、内部に搭載されているファームウェア（プログラム）も随時更新されます。更新される際に、メッセージが表示されたり、一時的に動作が停止したりすることがありますが、故障ではありません。画面にメッセージが表示された場合は、メッセージに従ってください。

MR コントローラの使いかたを練習する

まず初めに、映像の中を移動する、物体を選択するなど、MR コントローラの基本操作を練習します。映像と音声に従い、ひとつおりの操作を練習してください。

- ・「〇〇を見つめます」「〇〇を見つめてください」と表示されている場合は、MR コントローラから出ているビームを、対象物に合わせてください。選択する場合は、トリガーを引いてください。
- ・移動することを「テレポート」と言います。サムスティックを前方に倒すと、ビームが下向きに曲がります。その状態で、移動先にビームの先を合わせ、サムスティックを離すとテレポートします。



練習が終わると、クリフハウスと呼ばれる家の中に降り立ちます。

Point

- ▶ ここで実施した内容は、あとから繰り返し練習できます（→P.25）。

Mixed Reality ホーム

Mixed Reality ホームは、Windows Mixed Realityを楽しむための中心となる場所です。好きな場所にアプリを貼り付け、利用することができます。

Microsoft Edge を使ってホームページを閲覧したり、Windows ストアからアプリをインストールしたり、動画やゲームを楽しんだりできます。

最初に現れるのは、クリフハウスと呼ばれる家です。家の中には、いくつかのアプリがあらかじめ貼り付けられています。まずは、MR コントローラを使い、家の中を自由に移動できるように練習してみましょう。

また、Microsoft Edge を使ってホームページを閲覧するなど、MR コントローラを使ってアプリの操作に慣れてください。



MR コントローラの Windows ボタンを押すと表示されるのが「スタートメニュー」です。

ここからアプリを選んで、貼り付ける（起動する）ことができます。

MR ヘッドセットを装着し、MR コントローラが MR ヘッドセットよりも前方の正しい位置にあると、映像の中にもコントローラが表示されます。

Point

- ▶ クリフハウス内で、同時に起動できるアプリは3つ^注までです。
- ▶ MR ヘッドセットを装着した状態では、パソコンのデスクトップの操作ができません。MR ヘッドセットを外せば、パソコンを操作できるようになります。装着されているかは、MR ヘッドセット内部のセンサーで検出しています。画面にメッセージが表示され、マウスポインターが表示されていない場合は、 キーを押しながら  キーを押すと、パソコンを操作できるようになります。
- ▶ インターネットに接続して動画などのコンテンツを楽しむ場合は、お使いのインターネット回線の速度が各コンテンツプロバイダーの推奨条件を満たしている必要があります。

注：Windows Mixed Reality Ultra 対応の場合（→P.32）は、起動できるアプリの数に制限はありません。

CyberLink Power Media Player MR for FUJITSU

動画サイト「YouTube」で公開されている 360 度動画や VR 動画を視聴したり、360 度カメラで撮影した動画や画像を見たりすることができます

Point

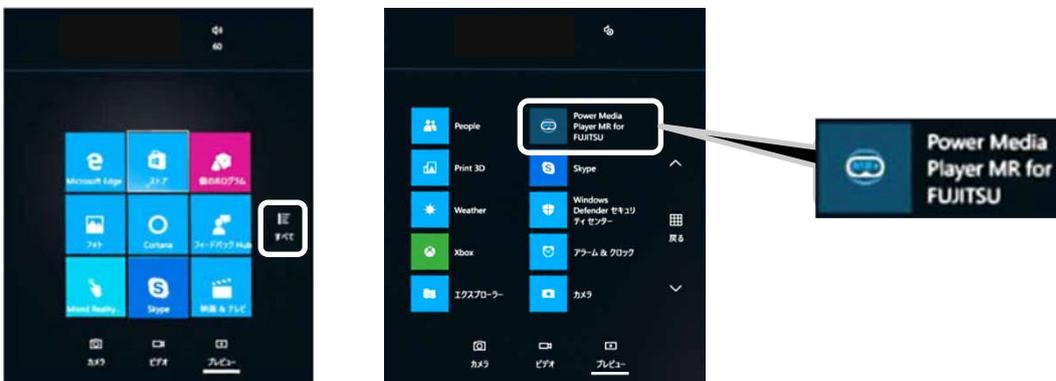
- ▶ パソコン同梱版をご購入いただいた場合、あらかじめパソコンに「CyberLink Power Media Player MR for FUJITSU」がインストールされています。
- ▶ 「Windows Mixed Reality Headset + Motion Controllers (MR ヘッドセット+コントローラ) FMVHDS1」をご購入いただいた場合、富士通のパソコンに限り、Windows ストアから「CyberLink Power Media Player MR for FUJITSU」をインストールすることができます。

Windows ストアからアプリをインストールするには、あらかじめ Microsoft アカウントでサインインし、インターネットに接続する必要があります。

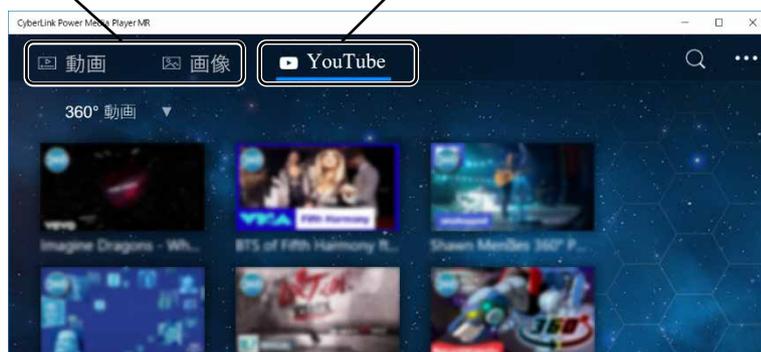
 ▶ 「ストア」の順にクリックし、「Power Media Player MR」で検索してアプリをインストールしてください。

1 クリフハウスが表示されている状態で、MR コントローラの Windows ボタン  を押します。

2 表示されたメニューの中の「すべて」に MR コントローラのビームを合わせてトリガーを引き、次に「Power Media Player MR for FUJITSU」を選択すると、アプリが起動します。



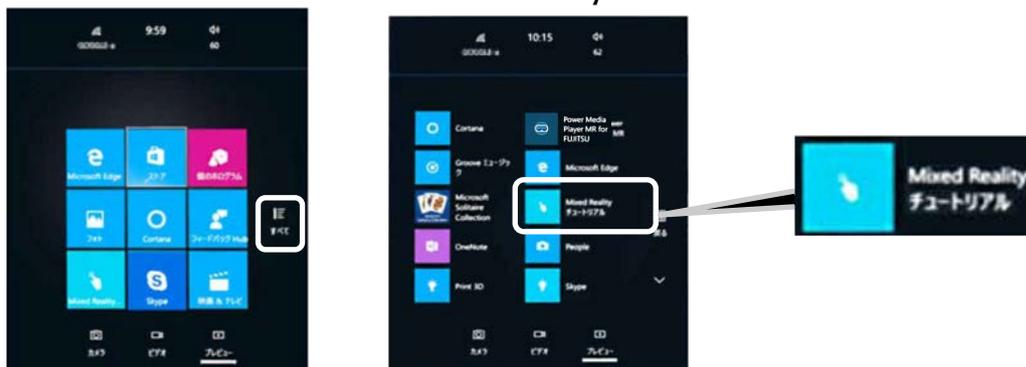
パソコン内の動画や画像を見ます。 YouTube の動画を見ます。



MR コントローラの操作練習

MR コントローラの操作を、繰り返し練習できます。

- 1 クリフハウスが表示されている状態で、MR コントローラの Windows ボタンを押します。
- 2 表示されたメニューの中から「すべて」に MR コントローラのビームを合わせてトリガーを引き、次に「Mixed Reality チュートリアル」を選択します。



音声による操作

パソコンのマイク、もしくは MR ヘッドセットに接続したマイク付ヘッドセットのマイクに話しかけることで、クリフハウスの中を音声で操作できます。

ただし、すべての操作を音声で行うことはできません。

■主な音声コマンド

もっと大きく	すべてのアプリ	調整モード	選択
もっと小さく	前のページ	完了	コルタナさん
正面から見る	次のページ	メニューを隠す	スタートに移動
移動モード	戻る	OK	閉じる
置く	ビデオ	キャンセル	

Windows Mixed Reality を使い終わったら

次の手順で Mixed Reality ポータルを終了させます。

- 1 MR ヘッドセットを外します。
- 2 パソコンの画面に表示されている「Mixed Reality ポータル」ウィンドウ右上の をクリックし、表示されたウィンドウの「シャットダウン」をクリックします。

Point

- ▶ パソコン本体に接続してある HDMI&USB3.0 ケーブルは、接続したままで構いません。
- ▶ MR コントローラは、時間が経つと自動的に電源が切れますが、振動が伝わっていると電源が切れません。Windows ボタンを 2 秒以上長押しして、電源をお切りください。
- ▶ 次に使い始めるときは、MR ヘッドセットがパソコンに接続されている状態で、 ▶ 「Mixed Reality ポータル」の順にクリックします。

Windows Mixed Reality の各種設定

Windows Mixed Reality に関連する、各種設定を変更することができます。オーディオや音声認識、環境、ヘッドセットディスプレイなどに関する設定を変更できます。

ここでは、IPD（瞳孔間距離）の調節、後から境界設定をやり直す方法、オーディオジャックに接続した機器の音量を調節する方法について説明します。

IPD（瞳孔間距離）を調節する

IPD（瞳孔間距離）とは、左右の黒目の中心間の距離のことです。顔の形や大きさにより、個人差があります。

初期設定値のままでもお使いいただけますが、利用者に合わせて調整することで、目の負担を軽減し、見やすくすることができます。

IPD の設定範囲は、59.0mm～67.0mm の間です。

Windows が起動している状態から説明します。

Point

- ▶ IPD を調整する前に、利用者の IPD を測定する必要があります。目の下に水平に定規を当て、鏡に向かって左右の黒目の中心間の距離を調べることで、簡易的に測定することができます。眼科やメガネ店などでは正確に測定できます。

1   (設定) ▶ 「Mixed Reality」▶ 「ヘッドセットディスプレイ」の順にクリックします。

2 スライダーを動かして調整します。

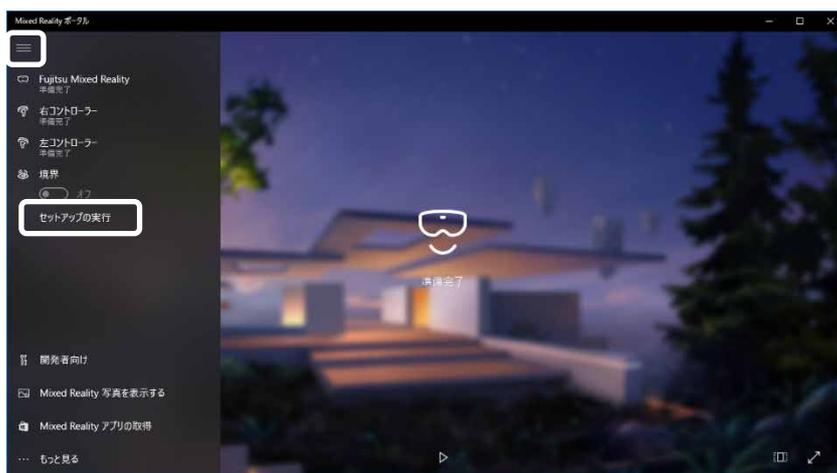


境界設定を変更する

「準備する」の「Windows Mixed Reality の境界設定」(→P.18) で設定した境界は、後から変更することができます。

お使いの環境が変わったときなどは、あらためて境界を設定し直してください。「Mixed Reality ポータル」 ウィンドウが表示されている状態から説明します。

1 左上の☰ ▶ 「セットアップの実行」の順にクリックします。



境界設定の選択画面が表示されます。

お使いの環境に合わせて、どちらかをクリックして選択します。その後、画面の指示に従って、設定を進めてください。

オーディオジャックに接続した機器の音量を調節する

MR ヘッドセットのオーディオジャックにヘッドセット (マイク付) またはヘッドホン を接続した状態で、次の手順で調節してください。

1 画面右下にある通知領域の 🔊 を右クリックし、表示されたメニューから「再生デバイス」をクリックします。

2 「ヘッドホン」を右クリックし、表示されたメニューから「有効」をクリックします。

3 もう一度「ヘッドホン」を右クリックし、表示されたメニューから「プロパティ」をクリックします。

4 「レベル」タブをクリックし、スライダーを左右に動かして音量を調整します。

5 「OK」をクリックします。

6 「OK」をクリックします。



お手入れ

日常のお手入れ

お手入れの際は、特に MR ヘッドセットのトラッキングカメラや内側のレンズ部分を傷つけないようにご注意ください。

■MR ヘッドセット本体

MR ヘッドセット本体は、乾いた柔らかい布で拭き取ってください。

汚れがひどい場合は、水または水で薄めた中性洗剤を含ませた布を、固く絞って拭き取ってください。中性洗剤を使用して拭いた場合は、水に浸した布を固く絞って中性洗剤を拭き取ってください。

付属のクッションは洗濯、洗浄できません。必要に応じて、別売のクッションをご購入のうえ、交換してください。

■MR ヘッドセット内側のレンズ面

MR ヘッドセット内側のレンズ面は、レンズ専用の柔らかい布で軽く拭いてください。レンズクリーニング液やアルコール、水などの液体は使用しないでください。

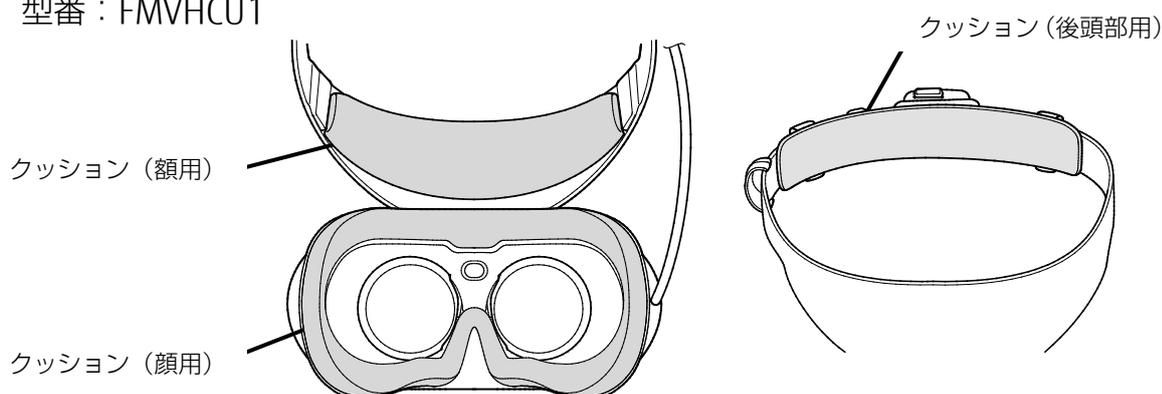
クッションの交換（別売）

MR ヘッドセット内側についているクッション（顔用、額用）およびヘッドバンドについているクッション（後頭部用）は、交換できます。

交換する場合は、次の別売オプションをご購入ください。

品名：Windows Mixed Reality Headset 用保護カバー
（MR ヘッドセット用保護カバー）

型番：FMVHCU1



交換作業は、厚手の柔らかい布を敷いた平坦な台の上で行ってください。特に、MR ヘッドセットの正面（トラッキングカメラがある黒い面）は傷つきやすいので、突起物が触れないように充分ご注意ください。クッションはマジックテープで固定されています。MR ヘッドセットを押さえ、古いクッションをゆっくりと剥がします。その後、新しいクッションを同じ位置に貼り付けます。

故障かなと思ったら

次の点をご確認ください

症状	対処方法
MR ヘッドセットに何も映らない	初めてパソコンに接続したときは、MR ヘッドセット内部に映像が表示されるまで、少し時間がかかります。しばらくお待ちください。
	HDMI&USB3.0 ケーブルが、パソコンに正しく接続されていることを確認してください。
	HDMI&USB3.0 ケーブルを再度、抜き差しして映るかどうか確認してください。
	パソコンがインターネットに接続されていることを確認してください。
	ノートパソコンの場合、パソコンに AC アダプタが接続されていることを確認してください。
	お使いのパソコンが対応機種になっているか、次のホームページで確認してください。 http://azby.fmworld.net/support/hard/hmd/
MR コントローラが効かない	パソコン本体の Bluetooth ワイヤレステクノロジーが有効になっているか確認してください。無効になっている場合は、有効にしてください。(→P.16)
	MR コントローラの Windows ボタン  を 2 秒以上長押しし、電源が入るか確認してください。電源が入らない場合、電池が消耗している可能性があります。新しい電池と交換してください。
	正しく認識（ペアリング）されているか、次の手順で確認してください。 1.  ▶  (設定) ▶ 「デバイス」▶ 「Bluetooth とその他のデバイス」の順にクリックします。 2. 「マウス、キーボード、ペン」の下に「Motion Controller - Left」、「Motion Controller - Right」が表示されていることを確認します。 表示されていない場合は、再度認識させてください。 1. 「Bluetooth とその他のデバイスを追加する」をクリックし、一番上の「Bluetooth」をクリックします。 2. MR コントローラの電池ボックス内にあるペアリングボタンを 2 秒以上長押しします。 3. 「Motion Controller - Left」または「Motion Controller - Right」が表示されたら、クリックします。 4. 「接続済み」と表示されたら、「完了」をクリックします。 同様の手順で、もう 1 つの MR コントローラも認識させます。
	MR コントローラは、MR ヘッドセットを装着した状態で、MR ヘッドセットの前方で認識されます。MR ヘッドセットより前方で操作してください。(→P.21)

症状	対処方法
MR コントローラが効かない (続き)	MR コントローラのアップデートが実行されている場合は、アップデートが完了するまでお待ちください。 アップデート中は MR ヘッドセットにメッセージが表示されています。

お問い合わせ先

こんなときには	こちらへ
故障かなと思われたとき	故障や修理に関する受付窓口 通話料無料 0120-926-220 受付時間 9:00~19:00 (システムメンテナンス日を除く)
技術的なご質問、ご相談	富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口 通話料無料 0120-950-222 受付時間 9:00~19:00 (システムメンテナンス日を除く) ご利用には、富士通パソコンのユーザー登録が必要です。

- おかけ間違いのないよう、ご注意ください。
- 各窓口ともダイヤル後、音声ガイダンスに従い、ボタン操作を行ってください。
お客様の相談内容によって、各窓口へご案内いたします。
- システムメンテナンスのため、受付時間であっても受け付けを休止させていただく場合があります。

仕様

Windows Mixed Reality Headset (MR ヘッドセット)

ディスプレイ	2.89 インチ×2
解像度	2880×1440 (1440×1440×2)
視野角	90 度または 100 度以上 ^{注1}
リフレッシュレート	60Hz または 90Hz ^{注2}
センサー	加速度センサー、ジャイロセンサー、磁気センサー、 トラッキングカメラ
インターフェース	HDMI
	USB3.0 Type-A
	オーディオジャック (外形 3.5mm のミニプラグ、CTIA 規格 ^{注3})
ケーブル長	約4m (先端から25cmはUSB3.0、HDMIコネクタ分岐)
温湿度条件	動作時 : 温度 5~35°C / 湿度 20~80%RH 非動作時 : 温度-10~60°C / 湿度 20~80%RH (動作時結露しないこと)
外形寸法 (幅×奥行×高さ)	ヘッドバンド最小時 約 182mm×約 230mm×約 138mm (突起部含まず)
	ヘッドバンド最大時 約 182mm×約 290mm×約 138mm (突起部含まず)
質量	約 415g (ケーブル含まず)

注 1 : Windows Mixed Reality Ultra 相当のパソコンに接続した場合 100 度以上、それ以外は 90 度。

注 2 : Windows Mixed Reality Ultra 相当のパソコンに接続した場合 90Hz、それ以外は 60Hz。

注 3 : OMTP 規格には対応していません。

Windows Mixed Reality Motion Controllers (MR コントローラ)

接続方式	Bluetooth 無線方式 (V4.0 準拠)
電源供給方式	単三形アルカリ乾電池または単三形充電電池 (右手用、左手用各 2 本)
稼働時間	1 日 2 時間の利用で約 14 日間 アルカリ乾電池使用時。稼働時間を保証するものではありません。ご利用環境により異なる場合があります。
温湿度条件	動作時 : 温度 5~35°C / 湿度 20~80%RH 非動作時 : 温度-10~60°C / 湿度 20~80%RH (動作時結露しないこと)
外形寸法 (幅×奥行×高さ)	約 119mm×約 153mm×約 119mm (ストラップ含まず)
質量 (片方)	約 135g (電池・ストラップ含まず)

材質一覧

使用箇所	材質
ゴーグル部カバー	PC 樹脂+ABS 樹脂
ヘッドバンド	ポリエチレン樹脂
ケーブルホルダー	PC 樹脂+ABS 樹脂
クッション顔部	ナイロン
クッション額部	ナイロン
クッション後頭部	ナイロン

本製品をお使いになるためのパソコンの推奨スペック

	Windows Mixed Reality	Windows Mixed Reality Ultra
OS	Windows10 (Fall Creators Update 以降)	
CPU	インテル®Core™第7世代CPU i5 以上	インテル®Core™第6世代CPU i5 以上 AMD FX-4350 4.2GHz 以上
グラフィック アクセラレータ	—	Nvidia GTX 965M/AMD RX 460 以上
メモリ	8GB DDR3 (デュアルチャンネル対応) 以上	8GB DDR3 以上
USB	USB3.0×1 (Type-A)	
HDMI	HDMI×1 または Displayport1.2 以上×1	
Bluetooth	Bluetooth4.0 (コントローラ用)	

※最新の対応パソコンについては、<http://azby.fmworld.net/support/hard/hmd/>にてご確認ください
けます。

Windows Mixed Reality Headset + Motion Controllers 取扱説明書

B5FK-9691-01-00

発行日：2017年11月

発行責任：富士通クライアントコンピューティング株式会社

〒211-8588 神奈川県川崎市中原区上小田中4-1-1

- このマニュアルの内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
- このマニュアルに記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
- 無断転載を禁じます。
- 落丁、乱丁本はお取り替えいたします。

このマニュアルはリサイクルに配慮して印刷されています。

不要になった際は、回収・リサイクルにお出してください。

